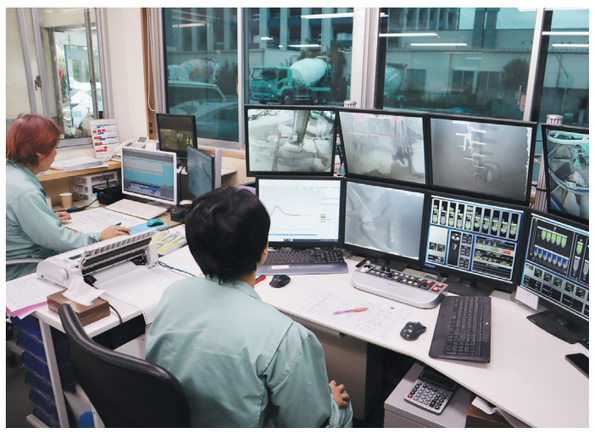
河島コンクリート工業、会社設立70周年



70周年を迎えて

河島慎吾社長

河島コンクリート工業
（東京都板橋区）
1951年 9月 1日創業
1955年10月18日設立

先代である父が急逝したのが10年前。母が他界して２年後のことだった。４代目として当時32歳で会社を継ぐことになった。喪主あいさつで取引先の皆様に「とにかく今まで通りのお付き合いをさせてほしい」と伝えたのを覚えている。何とかしなければならない、絶対に成功させるという強い思いだった。

この10年、たくさんの方にお支えいただいた。社員も本当に良く頑張ってくれた。会社設立からは70年。長い歴史を振り返って感じるのは、全ての関係者への大きな感謝だ。

いまの生コン業界は、本当に素晴らしい業界だと思う。義理や礼節を重んじる心がある。長年にわたって働く人も多く、それは良い業界である証拠だろう。ただ、自分が子どものころを振り返ると、生コン業界には３Ｋ（きつい、汚い、危険）の雰囲気があった。悪いイメージも持ってしまっていた。だからこそ、イメージも良い業界にしたいと純粋に思った。そのためには、当たり前だが、まずは自社を良くしていかなければならない。

お客様には「河島コンクリート工業に仕事を任せてよかった」と思ってもらいたいし、社員には「河島コンクリート工業に勤めて良かった」と思ってもらいたい。小学生の息子が２人いるが、将来「お父さんの会社っていい会社だね」、「お父さんの業界っていい業界だね」と言ってもらいたい。それが夢だ。

20数年前に練馬区から板橋区に会社移転した。板橋の地域の方々に「河島コンクリート工業が来てくれて良かった」と言ってもらえる企業でありたいと思うとともに、古巣の練馬にもそうあるべきだと責任も感じている。我々は地場で仕事をしている。社業発展と地域活性化は相関関係にある。全国各地に、同じ思いを持った生コン工場の同志がいらっしゃるはず。生コン工場がそれぞれの地域を盛り上げ、令和世代の若い人たちからも魅力があると感じてもらえるよう、業界を引き上げていきたい。温故知新を大切に、ベテランの力と若手の力が混ざり合った業界にしたい。

全国約3000工場に色んな特色があっていい。生コンJIS（A5308）という型を重んじながらも、縛られ過ぎることなく、各々が型破りのことに取り組めば、全体が発展していける。ときにチャレンジが必要だろう。アンテナを張りながら日々研鑽を重ねて、時代の変化に対応しつつバージョンアップしていかなければならない。

もっと色々なものを創っていきたい。生コン工場はこれくらいで済ませていいだろう、とか、生コン工場はこういうことは諦めたほうがいい、という考え方で終わってしまうのは悔しい。創造性の発揮が生コン業界のイメージアップにもつながると信じている。社会に胸を張って表現していきたい。

地域・取引先・社員、全てに感謝

記念式典

祝辞

小池百合子・東京都知事
衆議院議員時代からお付き合いがあり、お父様の賢一さんにお世話になってきた。慎吾さんの結婚式でもお祝いを申し上げた。急きょ社長を継ぎ、会社の発展に尽力してきた慎吾さん。繊細で優しいお人柄、お父さんにそっくりだ。これからも、東京の成長をけん引する企業としてご活躍いただきたい。（ビデオメッセージ）

中村藤雄・太平洋セメント執行役員セメント事業本部営業部部長
河島社長は品質や技術を大切にするだけでなく、社会、地域とのつながりも非常に大切にされている。「社員が河島コンクリート工業に入って良かったと思える会社にしたい」というお話も聞いた。オーナーがそういう感覚であるから、さらに100周年へと向かっていけるのだろう。

山岡朋宏・UBE三菱セメント執行役員営業副本部長
先代の社長には仕事やゴルフ、カラオケと色々なことでお世話になった。先代社長は今も私の胸に生きている。御社を訪ねると、とにかくいつも社員の皆様が生き生きとされていることに非常に感銘を受けている。私も感化されている。皆様のようにエネルギーを持っていきたい。

坂本健・板橋区長
貴社は高品質なコンクリートの生産・供給者として、区民の安心安全な生活を守ってきた。小中学生の工場見学、高校生のインターンシップ受け入れなどをはじめ、地域社会に多大な貢献をしている。持続可能な地域経済活動にも積極的だ。まさに地域に根ざし地域とともに成長する、優良企業の規範だ。（ビデオメッセージ）

開宴宣言

清水義宗取締役
創業以来、地域の皆様、きょういらっしゃった皆様方に強く支えをいただいてきた。私たちはこれからも地に足をつけ、「未来を見据えたものづくり」を胸に、80年、90年、100年と、その先を見て歩みを進める。感謝の気持ちを受け取っていただくとともに、河島コンクリート工業のこれからに期待を寄せていただければ幸いだ。

2025年10月19日、ホテルメトロポリタン

永年勤続功労表彰

竹尾茂営業部長
私の仲間たちは安定供給のため毎日コンクリートを変わらず作り続けている。功労賞を仲間にも捧げたい。私は勤めて20年。100周年記念までに30、40、50年勤務で功労賞ももらえたらと思う。当社は皆様からの信頼をいただいてきた。今後も皆様からお力をいただかなければならない。信頼をなくすことなく頑張っていく。

諏訪眞也工場長
会社に入って40年が経つ。入社した当時は朝早くから夜遅くまで、馬車馬のように働いていた。今では、それが180度転換した。天国のような会社になっている。定年までもう少し。河島コンクリート工業の組織風土を継承していかなければならない。培ってきたものは色々ある。次の世代につなげていきたい。

小幡浩透製造二課長
40数年前に入社した。河島賢一さんは中学時代の先輩だった。プライベートでもいつも一緒でお付き合いさせてもらった。愛と厳しさがあり、「人に対する感謝の気持ちを忘れるな」ということを教わったと感じる。うちの会社にはパワーがある。若い人たちも多い。皆様の力をお借りしながら、どんどん成長していきたい。